

デジタルトピック (Vol.1)

本市では「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指して高齢者にもやさしいデジタル化を推進しています。

このコーナーでは、地域のデジタルに関する取り組みを紹介します。

クラブ概要

設立／令和4年5月
 会員数／16人(64～78歳)
 【男性7人 女性9人】
 ※うち2人は市のシニアICT
 サポーターとして活躍中。
 活動日／毎月第3日曜日
 活動場所／吉井田学習センター



▲講習会の様子

各地区でのデジタルクラブの立ち上げをサポートします。興味がある方はご連絡ください。

■問／デジタル推進課
 ☎572-3943



斎藤(信)さん 会長 斎藤(敏)さん 遠藤さん

市のスマホ教室に参加したメンバーが中心となって「デジタルを取り入れながら地区を盛り上げていきたい」との思いでクラブを設立。会員のデジタルスキルを高め、ライフスタイルの向上を目指し、毎月講習会を実施しています。

クラブ設立当初は、手始めに初歩的なスマホの電源オン・オフや電話の受け方などから学び、今では、Wi-Fiの接続方法やWEB会議ツール「Zoom」の使い方などの習得に取り組んでいます。

会員が抱える疑問やチャレンジしたいことをクラブ内で共有し、一つ一つアイデアを出し合い「みんなが楽しく面白く」をモットーに活動しています。

斎藤会長はこれからの展望をこう話します「自分のレベルにあった内容で先輩の会員から楽しく教わられます。身に着けた知識やスキルは、会員同士で共有し、学び合いながら交流の輪を広げていきたいです。」

吉井田ICTサポータークラブ —地域の仲間で楽しくデジタル活用

We Love♥
 ふくしま!

第56回

「エネルギー価格の高騰に強い体質への転換へ」



この冬は、比較的雪が少なく、過ごしやすいかと思いましたが、記録的な寒波が到来するなど、結構寒かったですね。しかし、それ以上に寒気がするのが光熱費。見たこともない料金を見ると、暖房や点灯を控えたいくなります。

電気料金は4月から大幅値上げの予定で、エネルギーの価格高騰も当然収まる気配がありません。市や県、国では、家庭や事業者の負担軽減のため、一定の物価・エネルギー価格高騰対策を講じていますが、限界があります。

生活や事業活動をいかに省エネな体質に変えていくか、が大事です。

効果が大きいのは、建物の断熱性能の強化。窓や壁・天井などの断熱リフォームによって冷暖房の効きが良くなり、光熱費が軽減されます。

夏暑く冬寒い家は、熱中症やヒートショックなど健康上の問題も引き起こします。室内の温度は、夏場25～28度、冬場18～22度くらいが良いとされています。健康のためにも、できる限り断熱性能をよくしましょう。

ちなみに、わが家は札幌在住の方の暖房の恩恵で、ほとんど

暖房を使いませんでした。一方、私の実家の室内は非常に寒く、冬は帰省する気になれませんでした。断熱性能の確保の重要性を認識した次第です。

ほかに、家電や設備をより省エネ性能の優れたものに買い替えたり、電灯のLED化も省エネには効果的です。

太陽光発電設備の導入は節電と同じ効果をもたらします。建物の屋根を使ったり、空いた土地に設置したり。特に農家さんには利用可能なスペースが多いのではないのでしょうか。最近では、停電時でも自家発電の電力を利用できるよう蓄電池などを導入する方も増えてきました。

もちろん、断熱リフォームにしても、省エネ家電や太陽光発電設備の導入にしても、対応の費用が掛かります。これらに対し、いま、さまざまな支援制度があります。市では、今後これらの支援制度を分かりやすく整理し、市民や事業者の皆さんに周知していきます。この機に、エネルギー価格高騰に強い体質への転換を図っていただきたいと願っています。

福島市長 木幡 浩